

資料



令和2年度 長期研修員 佐藤真由美

自分の考えや気持ちを適切に表現できる児童の育成

— 自分の考えを形成するための支えとなる言葉の指導を通して —

はじめに

本資料は、「自分の考えや気持ちを適切に表現できる児童の育成 ―自分の考えを形成するための支えとなる言葉の指導を通して―」の補助資料である。

本研究では、児童が自分の考えや気持ちを適切に表現できるようにすることを目指し、自分の考えを形成するための支えとなる言葉の指導を行った。指導の一つ目は、「支えとなる言葉を学ぶための支援」である。単元の学習過程に、「言葉を知る」「言葉を使う」「言葉のよさを実感する」学習場面を位置付け、言葉を正しく使える支援の工夫を行うことである。二つ目は、「支えとなる言葉を基に自分の考えを形成させるための支援」である。追究する過程に、児童が考えを形成する場面に合わせ、支えとなる言葉を基に考えの形成を促す支援の工夫を行うことである。

授業実践の中で使用した、これら二つの手立ての具体的な支援と、それに対する児童の姿を記したものを資料として掲載する。

もくじ



2ページ はじめに・もくじ

3ページ 資料の構成

4ページ 1学年「きいて、しらせよう ともだちのこと、しらせよう」

6ページ 2学年「みんなで話をつなげよう そうだんにのってください」

8ページ 3学年「進行を考えながら話し合おう はんで意見をまとめよう」

10ページ 5学年「たがいの立場を明確にして話し合おう よりよい学校生活のために」

12ページ 6学年「目的や条件に応じて、計画的に話し合おう みんなで楽しく過ごすために」

資料の構成

単元名

光村図書6年

目標

学習活動

目的や条件に応じて計画的に話し合おう「みんなで楽しく過ごすために」

- ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。(知識及び技能(1)ア)
- ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらかつ計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思考力・判断力・表現力等(1)ア)
- ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思考力・判断力・表現力等(1)ア)
- ◎言葉を通して積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合うことができる。(学びに向かう力、人間性等)

指導上の留意点

学習過程

学習過程	学習活動	指導上の留意点
		【支えとなる言葉を学ぶための支援・児童の反応】 【支えとなる言葉を基に自分の考えを形成させるための支援・児童の反応】

・6年生として、今までに学校や地域の行事の中心となって活動してきたことを思い出す。
 ・話し合う目的や条件を確かめ、学習の見通しをもつ。

○自分たちが周りの人のために活動してきたことを思い出し、更により活動をしていこうという意欲を高めさせる。

単元のねらいの達成に必要なこと

手立てに関わる支援

単元の学習課題：目的や条件に合わせて計画的に話し合い、1年生と遊ぶ内容を決めよう。

・計画的に話し合うために必要なことを考え、共通理解する。

教師の支援例

- ・目的や条件を確かめる。
- ・話し合いの前に、自分の主張や理由、根拠を明らかにしておく。
- ・お互いの考えをよく聞いて、問題点を見付けて伝える。
- ・考えを広げる話し合いと、まとめる話し合いを繰り返して、結論を出す。

○計画的に話し合うために必要なことを表現する言葉をそれぞれ考え、使う場面ごとに整理させる。

「自分の主張・理由・根拠を明らかにして伝える」にはどの言葉を使えばよいのでしょうか。

教科書や今まで学習したことの中から表現する言葉を見付けてみよう。

理由は、「から」、根拠は「～ということがあった」と表現すればいいのではないかな。

○「問題点」や「まとめる」ことを表現する言葉も同様に考え、整理させる。

「使う場面ごとに整理した支えとなる言葉」

主張：である・思う・考える
 理由：だから・から・ので
 根拠：～ということがあった・自分が～だった
 問題点：反対・～の部分は賛成・可能性がある
 まとめる：目的・条件・比べる・整理

※「主張」「問題点」といったカテゴリの言葉も「支えとなる言葉」に含まれる。

POINT
 単元で扱う言葉に着目させましょう。

児童の反応

支えとなる言葉

本時の学習課題：話し合いの役割を決め、進行計画を立てよう。

・班ごとに、話し合いの役割や時間配分等を定める。

○「広げる話し合い」と「まとめる話し合い」があることを確認する場を設ける。

本時の学習課題：主張・理由・根拠を明確にして自分の考えをまとめよう。

・主張・理由・根拠を明確にして構成を考える。

手立て2「支えとなる言葉と考えをつなげるように促す」

○支えとなる言葉を確認しながら構成を考えるように促す。

支えとなる言葉を確認しながら、構成を考えてみましょう。

1年生もルールを知っているから、ドッジボールが面白いと思います。

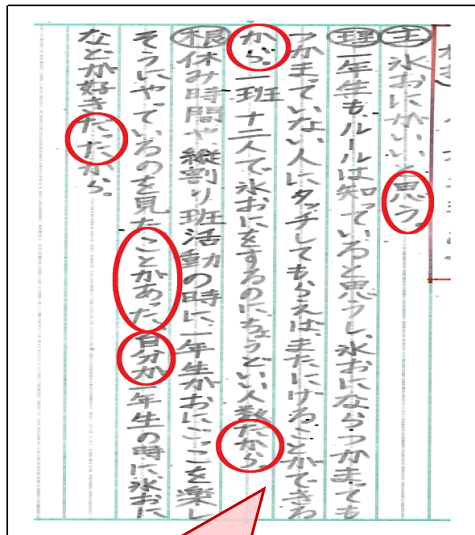
鬼ごっこが面白いと思うけれど、どう言えばいいのかな。

「～ということがあった」という言葉を使って根拠を伝える。

支援のポイント

「1年生が楽しそうに遊んでいたことがあった」と言えはいいんだね。

POINT
 支えとなる言葉と考えの構築をつなげるように促しましょう。

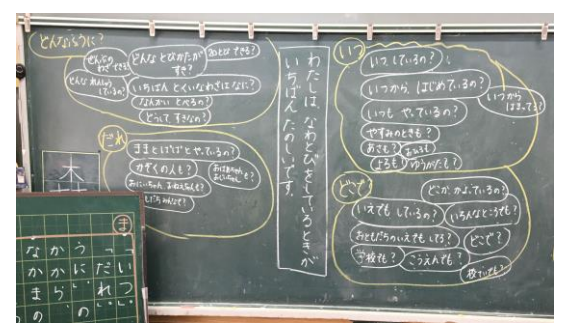


※主張・理由・根拠を表す言葉を基に構成を考えたノートの例

児童の活動の様子(例)

きいて しらせよう「ともだちのこと、しらせよう」

目標	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。(知識及び技能(1)オ)</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分や自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思考力・判断力・表現力 A (1)エ)</p> <p>◎「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章や表現のよいところを見付けることができる。(思考力・判断力・表現力 B(1)オ)</p> <p>○「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思考力・判断力・表現力 B(1)ウ)</p> <p>○紹介しようという見通しをもち、進んで友達に質問し、友達について書くことができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習過程	学習活動	指導上の留意点 【支えとなる言葉を学ぶための支援・児童の反応】 【支えとなる言葉を基に自分の考えを形成させるための支援・児童の反応】
	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の他己紹介を聞き、誰のことを話しているのかを考える。 ・「友達が一番楽しいと思っていること」について他己紹介をする。 ・単元の学習の見通しをもつ。 	<p>○友達本人に聞かなければ分からないということを認識することを通して、質問することの必要性に気付けるようにする。</p>
	<p>単元の学習課題：友達の一番楽しいことを聞いて、みんなに知らせよう。</p>	
	<p>本時の学習課題：友達のことを聞く方法を確かめよう。</p>	
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは、絵を描いているときが一番楽しいです」という例文から思い付く質問をできるだけ多く挙げる。 ・知りたいことを落とさずに聞くために、質問を仲間分けして整理する。 ・仲間分けした言葉が、<u>友達のことを落とさずに聞く方法</u>であることを共通理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">≪使う場面ごとに整理した支えとなる言葉≫</p> <p>いつ：いつ・何日・何曜日 どこ：どこ・どの場所 だれが：だれ・何人・だれと どのように：どのように・どんな・なに・どうやって 気持ち：どんな気持ち</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>※質問を仲間分けした板書の例</p> </div>	<p>○児童から挙げた質問と教科書の例文と比較させて、聞きたいことを思い付いたままに質問するのでは、みんなに知らせることが難しいことを確認させる。その上で、知りたいことを落とさずに聞くために、質問を整理することの必要性に気付けるようにする。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">手立て1「言葉を知る」</p> <p>○児童から挙げた質問を「いつ(時)」「どこで(場所)」「だれが(人)」「どのように」「気持ち」の観点から仲間分け(整理)させる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">「人」のことを聞いている質問はどれでしょうか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「誰」と「何人」は人のことだから同じ仲間だね。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「どのような絵を描いているのですか?」は、どの仲間だろう?</p> </div> </div> <p>○「いつ」や「どこで」などを表現する言葉も同様に考え、整理させる。→ 支えとなる言葉</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">POINT</p> <p>単元で扱う言葉に着目させましょう。</p> </div> </div> <p>○「人」を表す言葉の色を変えるなど、仲間分けの視点となる言葉が視覚的に分かるような板書の工夫をする。</p>
追究する	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に聞きたいことの見通しをもつ。 	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">手立て2「支えとなる言葉と考えをつなげるように促す」</p> <p>○支えとなる言葉を確認しながら質問を考えるように伝える。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">支えとなる言葉を確認しながら、友達に聞きたいことを考えましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「どんな気持ちですか」は聞いてみたいな。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">POINT</p> <p>支えとなる言葉と考えの構築をつなげるように促しましょう。</p> </div> </div> <p>○実際の活動の中で質問の言葉が変わってもよいことを伝える。</p>

・一回目は、「いつ」「だれ」等を使って質問し、二回目は、「何曜日」「何人」等を使って質問するなど、その都度、使う言葉を自分で選んで質問し、相手が何を答えたかを振り返る。

・落とさずに聞くことを確認しながら、ペアで聞き合う。

さあ	うに	どのよ	だれが	いつ	なにか
おもしろかったこと	なに	どのように	だれ	なんに	いつ
楽しかったこと	なに	どのように	だれ	なんに	いつ
楽しかったこと	なに	どのように	だれ	なんに	いつ

※ワークシートの例

手立て1 「言葉を使う」

○質問と答えのつながりが分かるようにするために、支えとなる言葉を自分で選んで質問させ、相手が何と答えたかを振り返らせる活動を設定する。(質問練習の場を設定する。)

Aさんに「どこで遊んでいるのですか」と聞いたら、自分の家と友達の家と答えたよ。「どこ」の答えは二つのときもあるんだね。

Bさんの遊びは初めて知ったよ。知らせるときに困るな。どうすればいいだろう。

「どのように」の中から言葉を選んで、遊び方を聞いてみてはどうですか。

「どのように遊ぶのですか」と聞いてみよう。

POINT

児童が伝えたいことに合わせて、言葉を選んで使えるように促しましょう。

○質問の初めは「今一番楽しいことは何ですか」、最後にはお礼を言うことを確認しておく。
○知りたいことを考えて聞く、答える、聞いたことを書くという一連の活動の時間を十分に確保する。

手立て2 「支えとなる言葉を基に考えを交流させる」

○支えとなる言葉と、聞いたこととのつながりが分かるワークシートに聞いたことを書くように促す。

「いつ」のことを質問したら、「いつ」のところに聞いたことを書けばいいのね。

「どのように遊ぶのですか」と聞かれたから、遊び方を詳しく答えてみよう。

POINT

支えとなる言葉を基に考えを交流させましょう。

手立て1 「言葉のよさを実感する」

○他の支えとなる言葉と比較させることで、言葉のよさを実感できるように促す。

「遊んでいる場所はどこですか」と聞いたら「家」と答えてもらったよ。でも、本当は、もう少し詳しく知りたかったんだ。

「どこ」と「どの場所」はどう違いますか。

「家のどの場所」と聞けば詳しく聞けたんだね。今度はそうに聞いてみよう。

POINT

自分が使った言葉と別の言葉と比較するように促しましょう。

本時の学習課題：友達が一番楽しいと思っていることを、文章で知らせよう。(2時間)

・教科書を例に、書き方を知る。
・友達のことを知らせる文章を書く。

○大まかなまとまりと書く順序を示し、文章を書くことへの抵抗感が少なくなるようする。

本時の学習課題：友達の文章を読んで、思ったことを伝えよう。

・友達の作品のよいところを考えながら読む。
・感想を伝え合う。

手立て2 「支えとなる言葉を基に再考を促す」

○児童の考えが深められるようにするために、どの支えとなる言葉から考えが変わったかを想起させる。

Cさんは、ピアノを毎日弾いていたんだね。知らなかったよ。

どの言葉から分かったのですか。

「いつ弾いているか」と聞いたからだ。質問すると、知らなかったことも分かるんだね。

POINT

支えとなる言葉を基に、再考を促しましょう。

※今回は単元の構成上、「まとめる過程」に設定した。

・知りたいことを聞く中で、どのような力が身に付いたのかを振り返る。

○友達のことを聞く方法を確認しながらまとめていく。

まじめる

みんなで話をつなげよう「そうだんにのってください」

目標	<p>○共通、相違、事柄の順序など上情報と情報との関係について理解することができる。(知識及び技能(2)ア)</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)オ)</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)ア)</p> <p>○積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合うことができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習過程	学習活動	指導上の留意点 【支えとなる言葉を学ぶための支援・児童の反応】 【支えとなる言葉を基に自分の考えを形成させるための支援・児童の反応】
つかむ	<p>・教材名から学ぶことを知り、単元の学習課題を設定する。</p> <p style="text-align: center;">単元の学習課題：みんなで話をつなげて話し合って、友達の相談を解決しよう。</p> <p>・相談したい話題について考え、思いついた話題を書き出す。</p>	<p>○「何を相談したらいいのか分からない」「話をつなげるとはどうすればよいか」といった児童の思いを、相談内容を決めるときや話し合いの仕方を考えるときに生かせるようにする。</p> <p>○話題の視点として、できなくて困っていることやもっとできるようになりたいことを中心にする。</p> <p>○プライバシーに関わる話が出ないように配慮する。</p>
	<p style="text-align: center;">本時の学習課題：相談する話題を決めよう。(2時間)</p> <p>・どのような話題が相談にふさわしいかを確認する。</p> <p>・話題を決める際の視点を基に、友達との伝え合いを通して、話題を決める。</p>	<p>○話題を決める際の視点として、自分しか知らない話題ではなく、友達が考えて話すことができるような話題がよいことを共通理解させる。</p> <p>○伝え合いの際には、「A：ぼくは、〇〇を相談します」「B：どうしてそれに決めたのですか」「A：□□だからです」といった話型を示しておく。</p>
追究する	<p style="text-align: center;">本時の学習課題：話をつなげて話し合う方法を考えよう。(2時間)</p> <p>・二人一組の対話を通して、「話をつなぐ」ときに必要なることを考え、共通理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>相談する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談することを初めに言う。 ・相談に答えてもらった感想を言う。 <p>答える人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談に答えるときは理由を言う。 <p>両方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたいことを質問する。 <p>約束</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の話最後まで聞いてから話す。 ・話している人の方を見て、うなずきながら聞く </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">「使う場面ごとに整理した支えとなる言葉」</p> <p>相談する人</p> <p>相談：～を相談します・どうしたらいいですか</p> <p>感想：いい考え・賛成・同じ・なるほど</p> <p>答える人</p> <p>答える：思います・からです</p> <p>両方</p> <p>質問：～ですか・いつ・どこで・どのように どうやって・どうして・どんな</p> <p>※「質問」などのカテゴリの言葉も支えとなる言葉に含まれる。</p> </div> <p>・相談する言い方を考える。</p>	<p>○対話は共通の話題とし、児童が「話をつなぐ」ときに必要なることを見付けることに集中できるようにする。</p> <p>○対話を通して「話をつなぐ」ときに必要なることを見付からない場合には、教科書や音声資料等を活用する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">手立て1「言葉を知る」</p> <p>○相談に答えてもらった感想を表現する言葉を考え、整理させる。</p> <p>相談に答えてもらっていい考えだと思ったら、友達にどう伝えましたか。</p> <p style="text-align: center;">授業中に手を挙げて、同じ考えだったときみたいに「同じです」と答えればいいんじゃないかな。</p> <p>○「相談」や「質問」を表現する言葉も同様に考え、整理させる。→ 支えとなる言葉</p> <p>○実際の話し合いの場でも使えるように。児童が使い慣れていない言葉は例文を提示する。</p> <p style="text-align: center;">POINT</p> <p style="text-align: center;">単元で扱う言葉に着目させましょう。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※今回は単元の構成上、「追究する過程」に設定した。</p> </div> <p>○話をつなぐ話し合いが円滑にできるようにするために、事前に、相談する(話題を確かめる)言い方を考える場を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">手立て2「支えとなる言葉と考えをつなげるように促す」</p> <p>○支えとなる言葉の「相談」の言葉を確認しながら、相談するときの言い方を考えさせる。</p> <p>相談するには、どの言葉を使えばいいでしょうか。</p> <p>休み時間に仲良く遊ぶには、どうしたらいいですか。</p> <p>今度の弟の誕生日プレゼントは何かいいかを相談します。</p> <p style="text-align: center;">POINT</p> <p style="text-align: center;">支えとなる言葉と考えの構築をつなげるように促しましょう。</p> </div>

本時の学習課題：みんなで話をつなげて話し合おう。(2時間)

- ・「挨拶 → 相談 → 一人目の回答 → 回答に対する感想 → 二人目…挨拶」という話し合いの手順を確認する。
- ・四人班で話し合う。



四人班での話し合いの例

○教科書や音声資料等を参考に、話し合いの手順を確認させる。

○話し合いのポイントなどを確認させてから、班ごとに話し合う場を設ける。

手立て2「支えとなる言葉を基に考えを交流させる」

○様々な考えを知り、考えの広がりをもつために、支えとなる言葉を基にした話し合い活動をさせる。



ぼくの意見に、Aさんは「それは**いい考え**ですね」と言ってくれたよ。ぼくの意見に**感想**を言ってくれたことが分かったよ。

POINT



支えとなる言葉を基に考えを交流させましょう。

手立て1「言葉を使う」

○児童の伝えたいことに合わせて、支えとなる言葉を選んで使うように促す。



妹に渡すプレゼントは縄跳びが**いい**って言われたけど、何だか納得できないな。



質問の言葉を使って聞いてみましょう。



(質問にぴったりな言葉は「どうして」だな)
どうして縄跳びが**いい**と思ったのですか。

POINT



児童が伝えたいことに合わせて、言葉を選んで使えるように促しましょう。

手立て1「言葉のよさを実感する」

○友達が使った他の支えとなる言葉と比較させることで、言葉のよさを実感できるように促す。



相談に答えたら「それは**いい考え**ですね」で終わってしまって、話がつながらなかったんだよ。



話が続いた班は、どの言葉を使って話をつなげたのですか。



「**どうやって**すれば**いい**のですか」と質問したら、話がつながったよ。



感想を言っただけだと、話がつながらないこともあるんだね。**質問**をすると話がつながるんだね。今度は使ってみよう。

POINT



自分が使った言葉と別の言葉と比較するように促しましょう。

手立て2「支えとなる言葉を基に再考を促す」

○児童の考えが深められるようにするために、どの支えとなる言葉から考えが変わったかを想起させる。



弟の誕生日は、一緒に遊んであげよう。



その考えは、どの言葉から変わったのですか



友達が、「弟は**どんな**遊びが好きなのですか」と聞かれたから、プレゼントより遊んであげた方が**喜ぶ**と思ったんだよ。

POINT



支えとなる言葉を基に、再考を促しましょう。

- ・話し合っていて、よかったところやうまくいかなかったところを伝え合う。
- ・振り返りを踏まえ、もう一度話し合う。

- ・話し合った結果や感想を共有する。

- 話をつなげて話し合うために、どのようなことに気を付けたか。
- 相談内容と解決したことなど。

※交流の視点の例

《児童の振り返りの例》

- 友達の意見に、「**いい考え**・**確かめ**」を使ってたくさん答えることができた。
- 友達に自分の考えを言うことができた。
- 「**賛成**・**反対**・**いい考え**」を使って、前よりも友達との話が続けられるようになってよかった。

本時の学習課題：話をつなげる話し合いの方法をまとめよう。

- ・班で話し合っていて、どのような力が身に付いたのかを振り返る。

○話をつなげて話し合う方法を確認しながらまとめていく。

追究する

まとめる

進行を考えながら話し合おう「はんで意見をまとめよう」

目標	<p>○様子や行動、気持ちや様子を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知識及び技能(1)オ)</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)オ)</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)ア)</p> <p>○進んで目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えをまとめることができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習過程	学習活動	指導上の留意点
つかむ	<p>・低学年での読み聞かせの経験を想起し、題材に対する目的意識をもち、単元のめあてを確認する。</p>	<p>○話題についての興味を引き出すとともに、これまでの話し合いの経験を想起させ、必要感をもって単元の学習に臨めるようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 単元の学習課題：進行を考えながら話し合い、1年生に読み聞かせをする本を決めよう。 </div>	<p>○本が選べなくて困っている児童には、図書室の読み聞かせコーナーの本から選ばせるようにする。</p>
追究する	<p>・音声資料や動画資料から話し合いの進め方を確かめる。</p> <p>・<u>進行を考えながら話し合うために必要なこと</u>を考え、共通理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・話し合いの目的や進め方と、役割を決めておく。</p> <p>・どうやって決めるのかを確認する。</p> <p>・自分の意見と理由を言う。</p> <p>・友達の考えの同じところと違うところを見付ける。</p> <p>・司会は意見を整理しながら進行する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #e0f0e0;"> <p style="text-align: center;">《使う場面ごとに整理した支えとなる言葉》</p> <p>意見：思う・考える 理由：だから・から・ので 司会：(意見をきく) 理由を教えて・詳しく説明・他の意見(意見が出ない) 考える時間をとる・何に賛成(反対)か(意見をまとめる) 同じところと違うところを整理</p> <p style="font-size: small;">※「意見」「理由」といったカテゴリの言葉も「支えとなる言葉」に含まれる。</p> </div>	<p style="text-align: center;">手立て1「言葉を知る」</p> <p>○進行を考えながら話し合うために必要なことを表現する言葉をそれぞれ考え、使う場面ごとに整理させる。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>意見をきくときに、司会はどの言葉を使えばよいのでしょうか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: x-small;">教科書や今まで学習したことの中から表現する言葉を見付けてみよう。</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: x-small;">「意見を言ってください」のほかには何かがあるかな。もっと詳しく言ってもらえばいいのかな。</div> </div> <p>○自分の考えを伝える、意見が出ないときや意見をまとめるときの司会の言葉も同様に考え、整理させる。</p> <p style="text-align: center;">→ 支えとなる言葉</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #ffe0e0;"> <p style="text-align: center;">POINT</p> <p>単元で扱う言葉に着目させましょう。</p> </div>
	<p>・班ごとに話し合いの役割を決めたり、話し合いの計画を立てたりする。</p> <p>・自分の意見(1年生が好きになってくれる本と選んだ理由)を話し合いに向けてもう一度確認する。</p>	<p style="text-align: center;">手立て2「支えとなる言葉と考えをつなげるように促す」</p> <p>○自分の意見の伝え方が、進行を考えながら話し合う方法と合っているかをもう一度確認するように促す。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1年生が好きになってくれる本と選んだ理由が、自分の意見の伝え方(支えとなる言葉)と同じになっているか、もう一度確認しましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: x-small;">「OO」という本は、小さな猫が出てきておもしろいんだよ。</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「意見」と「理由」の言葉を使って言い方を考えてみましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: x-small;">ぼくは、「OO」という本がいいと思います。小さな猫が出てきておもしろいからです。</div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #ffe0e0;"> <p style="text-align: center;">POINT</p> <p>支えとなる言葉と考えの構築をつなげるように促しましょう。</p> </div>

本時の学習課題：進行を考えながら話し合い、班の考えをまとめよう。（3時間）

・班で話し合う。

・話し合いをしていない班は、進行を考えて話し合っているかを聞く。



※少人数での話し合いの場の設定の例。
話し合っている児童と聞いている児童が
一対一のペアになっている。

・話し合う中で、よかったところやうまくいかなかったところを伝え合う。
・振り返りを踏まえ、もう一度話し合う。

・話し合った結果や感想を共有する。

- 進行を考えながら話し合うために、どのようなことに気を付けたか。
- 話し合いを通じた自分の考えの変化(しなかったこと)とその理由。
- 班で決まった本とその理由など。

※交流の視点の例

《児童の振り返りの例》

- 自分の意見がはっきり言えた。
- 「目的・詳しく」を使って司会が上手に話し合いを進めていた。
- 次の話し合いでは、「理由・詳しく」などの意見を聞く言葉を使いながら司会を助けて、もっとスムーズに話し合いができるようになりたい。

○話し合いの仕方や流れ、ポイントなどを確認させてから、班ごとに話し合う場を設ける。

手立て2「支えとなる言葉を基に考えを交流させる」

○様々な考えを知り、考えの広がりをもつために、発言の機会が増える少人数での話し合い活動の場を設定する。

○支えとなる言葉を基に相手の意見を聞いて、自分の考えと比較することを話し合いの前に提示する。

聞いている私たちは、支えとなる言葉をチェックすれば、進行を考えて話し合っているかが分かるね。



支えとなる言葉を基にすると、友達の考えの共通点や相違点がはっきりして、お互いの考えがよく分かるね。

POINT



支えとなる言葉を基に考えを交流させましょう。

手立て1「言葉を使う」

○児童の伝えたいことに合わせて、支えとなる言葉を選んで使うように促す。



多数決で決めるのではなくて、もう少しみんなの意見をまとめてみたいな。



「意見をまとめる」ときにはどの言葉を使えばいいのでしょうか。



みんなの本のよいところの、「同じところと違うところを整理」してから、同じところが多い本について話し合ってみよう。

POINT



児童が伝えたいことに合わせて、言葉を選んで使えるように促しましょう。

手立て1「言葉のよさを実感する」

○友達が使った他の支えとなる言葉と比較させることで、言葉のよさを実感できるように促す。



意見が出なかったから「考える時間をとります」と言ったけれど、その後も意見が出なかったんだ。



(聞く班の児童に) 意見が出ないときに、Aさんはどの言葉を使っていましたか



意見が出ないときには、『〇〇』の本の「何が賛成か」のように、みんなに一つの本のことを聞いてもいいかもしれないね。今度は使ってみよう。

POINT



自分が使った言葉と別の言葉と比較するように促しましょう。

手立て2「支えとなる言葉を基に再考を促す」

○児童の考えが深められるようにするために、どの支えとなる言葉から考えが変わったかを想起させる。



ぼくが好きな本がいいと思ったけれど、「△△」という本もいいな。



その考えは、どの言葉から変わったのですか



「詳しく説明して」もらったら、1年生と一緒に掛け声を出せる「△△」もいいなと思ったんだよ。

POINT



支えとなる言葉を基に、再考を促しましょう。

本時の学習課題：進行を考えながら話し合う方法をまとめよう。

・班で計画的に話し合う中で、どのような力が身に付いたのかを振り返る。

○進行を考えながら話し合う方法を確認しながらまとめていく。

追究する

まとめる

たがいの立場を明確にして、話し合おう「よりよい学校生活のために」

目標	<p>○情報と情報の関係付けのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知識及び技能(2)イ)</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)ア)</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)オ)</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)イ)</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思考力・判断力・表現力 A(1)エ)</p> <p>○互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって、粘り強く身の回りの問題を解決するために話し合うことができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習過程	学習活動	指導上の留意点 【支えとなる言葉を学ぶための支援・児童の反応】 【支えとなる言葉を基に自分の考えを形成させるための支援・児童の反応】
つかむ	<p>・学校生活の中で課題に思っていることについて簡単に意見交換する。</p> <p>・課題意識を生かして、学校生活の改善に向けた案を考えるために、よりよい話し合いをしていく、という単元全体の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">単元の学習課題：互いの立場を明確にして話し合い、学校生活がよりよくなるアイデアを決めよう。</p> </div> <p>・音声資料や動画資料から話し合いのイメージをつかむ。</p> <p>・<u>立場の違いを明確にして話し合う方法</u>を考え、共通理解する。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・自分の立場をはっきりさせる。</p> <p>・目的や条件、進行計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</p> <p>・互いの考えをよく聞いて、共通点や相違点をはっきりさせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">≪使う場面ごとに整理した支えとなる言葉≫</p> <p>自分の立場：現状・問題点・解決方法・考える・理由・賛成・反対・どうか・だろうか(投げかけ)</p> <p>広げる：具体的に・例えば・原因として・つまり・どうして・どのようにして・どちらが・質問</p> <p>まとめる：どちらも・一方で・同じ・違う・条件</p> </div>	<p>○課題が見付からない児童には、学習、掃除や給食といった具体的な観点を提示して考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">手立て1「言葉を知る」</p> <p>○立場の違いを明確にして話し合うために必要なことを表現する言葉をそれぞれ考え、使う場面ごとに整理させる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「考えを広げる話し合い」では、どの言葉を使って伝えればよいのでしょうか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> <p>教科書や今まで学習したことの中から表現する言葉を見付けてみよう。対話をして見付けるのもいいね。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> <p>「考えを広げる」のだから、相手の考えを詳しく聞いて、自分の考えと比べるのはどうかな。</p> </div> </div> <p>○「自分の立場」や「まとめる」ことを表現する言葉も同様に考え、整理させる。→ 支えとなる言葉</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">単元で扱う言葉に着目させましょう。</p> </div> </div>
追究する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">本時の学習課題：学校生活を振り返って、話し合って解決したい議題を決めよう。</p> </div> <p>・学校生活の課題を考えて、グループで議題を決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">本時の学習課題：自分の立場をはっきりさせて、考えをまとめよう。</p> </div> <p>・議題についての自分の考えをノートに書き出す。</p> <p>・「現状と問題点」「解決方法」「理由」の三つの観点から自分の立場をはっきりさせながら考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: x-small;">(理) 教室のゴミを掃除する所にはゴミ箱を置いてほしい。(現) 給食を食べて残してしまふ人が多すぎる。(現) 教室の残飯が残りすぎる。</p> </div> <p>※自分の立場を表す言葉を基に構成を考えたワークシートの例</p>	<p>○解決方法が見付かりそうなこと、自分たちの活動によって解決できそうなことなどを議題にするよう促す。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">手立て2「支えとなる言葉と考えをつなげるように促す」</p> <p>○支えとなる言葉(自分の立場を表す言葉)を確認しながら考えをまとめるように促す。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「自分の立場」を表す言葉を確認しながら、自分の考えをまとめましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> <p>現状は廊下を走っている人がいる、問題点は人にぶつかってあふない、解決方法は…。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> <p>教室にごみが落ちてるのが嫌なんですけど、どう伝えればよいのかな。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ごみが落ちてると、どのような「問題点」があるのですか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> <p>見た目もよくないし、汚いのは衛生面から見ても問題点があるね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">POINT</p> <p style="text-align: center;">支えとなる言葉と考えの構築をつなげるように促しましょう。</p> </div> </div>

本時の学習課題：班ごとに役割や進め方を決め、互いの立場をはっきりさせながら話し合おう。(2時間設定)

- ・班ごとに、話し合いの役割や時間配分、進め方等を決める。
- ・進行計画に沿ってグループで話し合う。

- ・話し合いをしていない班は、計画的に話し合っているかを聞く。



※少人数での話し合いの場の設定の例。
中央が話し合いの班、周りが話し合いを聞いている班。

- 「広げる話し合い」と「まとめる話し合い」について確認する場を設ける。
- 話し合いの仕方や流れ、ポイントなどを確認させてから、班ごとに話し合う場を設ける。

手立て2「支えとなる言葉を基に考えを交流させる」

- 様々な考えを知り、考えの広がりを促すために、発言の機会が増える少人数での話し合い活動の場を設定する。
- 支えとなる言葉を基に相手の意見を聞いて、自分の考えと比較することを話し合いの前に提示する。

聞いている私たちは、支えとなる言葉をチェックすれば、互いの立場がはっきりした話し合いができていくかが分かるね。



支えとなる言葉を基にすると、友達の考えの共通点や相違点がはっきりして、お互いの考えがよく分かるね。

POINT



支えとなる言葉を基に考えを交流させましょう。

手立て1「言葉を使う」

- 児童の伝えたいことに合わせて、支えとなる言葉を選んで使うように促す。



あいさつチェックって何かおかしいと思うんだよね。



「広げる」ことを伝える言葉の中から知りたいことを聞いてみましょう。



(知りたいことは、あいさつチェックのやり方だから…)
どのようにしてあいさつチェックをするのですか。

POINT



児童が伝えたいことに合わせて、言葉を選んで使えるように促しましょう。

追究する

本時の学習課題：話し合った結果を共有し、計画的に話し合う方法をまとめよう。

- ・話し合った結果や感想を共有する。

- 立場を明確にした話し合いのために、どのようなことに気を付けたか。
- 話し合いを通じた自分の考えの変化(しなかったこと)とその理由。
- 班で決まった解決策と実施方法など。

※交流の視点の例

《児童の振り返りの例》

- 「賛成・反対」を使ったら、一人一人の意見がはっきりして話し合いがうまく進んだ。
- 「具体的に・例えば」を使って、友達の意見を詳しく聞いた。
- 「同じ・違う」を使うともっとまとめやすくなると思うので、次の話し合いで使ってみたい。
- 友達が使った「どうか・だろうか」で問いかけて説得力をもたせたい。
- 「支えとなる言葉」を使うだけで、こんなに話し合いが進むと思わなかった。

- ・互いの立場をはっきりさせながら話し合う中で、どのような力が身に付いたのかを、班ごとに振り返る。

手立て1「言葉のよさを実感する」

- 友達が使った支えとなる言葉と比較させることで、言葉のよさを実感できるように促す。



「具体的に教えてください」と言ったけれど、思ったように答えが返ってこなかったんだ。



友達は、同じような質問をするときに、どの「広げる」言葉を使っていましたか。



友達は、「例えば、どういことですか」と聞いていたな。「例えば」の方が詳しく聞ける場合もあるかもしれないね。今度使って確かめてみよう。

POINT



自分が使った言葉と別の言葉と比較するように促しましょう。

手立て2「支えとなる言葉を基に再考を促す」

- 児童の考えが深められるようにするために、どの支えとなる言葉から考えが変わったかを想起させる。

※友達の意見のよかったところの感想にとどまっている児童に対して、もっと考えを深めさせたとき



あいさつチェックもいいところがあったな。



それは、どのような質問をしてそう思ったのですか。



「どのようにしてするのか」を聞いたら、くわしい方法を教えてもらったんだ。あいさつをしようって呼びかけるのがいいと思ったんだよ。

POINT



支えとなる言葉を基に、再考を促しましょう。

- 振り返り後の発表では、共通点を見付けながら聞くように言葉をかける。

まとめる

目的や条件に応じて計画的に話し合おう「みんなで楽しく過ごすために」

目標	◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。(知識及び技能(1)ア) ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思考力・判断力・表現力等(1)オ) ○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思考力、判断力、表現力等(1)ア) ○言葉を通じて積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合うことができる。(学びに向かう力、人間性等)
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習過程	学習活動	指導上の留意点 【支えとなる言葉を学ぶための支援・児童の反応】 【支えとなる言葉を基に自分の考えを形成させるための支援・児童の反応】
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生として、今までに学校や地域の行事の中心となって活動してきたことを思い出す。 ・話し合う目的や条件を確かめ、学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 単元の学習課題：目的や条件に合わせて計画的に話し合い、1年生と遊ぶ内容を決めよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に話し合うために必要なことを考え、共通理解する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や条件を確かめる。 ・話し合いの前に、自分の主張や理由、根拠を明らかにしておく。 ・お互いの考えをよく聞いて、問題点を見付けて伝える。 ・考えを広げる話し合いと、まとめる話し合いを繰り返して、結論を出す。 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「使う場面ごとに整理した支えとなる言葉」</p> <p>主張：である・思う・考える 理由：だから・から・ので 根拠：～ということがあった・自分が～だった 問題点：反対・～の部分は賛成・可能性がある まとめる：目的・条件・比べる・整理</p> <p>※「主張」「問題点」といったカテゴリの言葉も「支えとなる言葉」に含まれる。</p> </div>	<p style="text-align: center;">手立て1「言葉を知る」</p> <p>○計画的に話し合うために必要なことを表現する言葉をそれぞれ考え、使う場面ごとに整理させる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「自分の主張・理由・根拠を明らかにして伝える」にはどの言葉を使えばよいのでしょうか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> 教科書や今まで学習したことの中から表現する言葉を見付けてみよう。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> 理由は「から」、根拠は「～ということがあった」と表現すればいいのではないかな。 </div> </div> <p>○「問題点」や「まとめる」ことを表現する言葉も同様に考え、整理させる。→ 支えとなる言葉</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">POINT</p> <p>単元で扱う言葉に着目させましょう。</p> </div>
追究する	<ul style="list-style-type: none"> ・主張・理由・根拠を明確にして構成を考える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="font-size: x-small;">※主張・理由・根拠を表す言葉を基に構成を考えたノートの例</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 本時の学習課題：話し合いの役割を決め、進行計画を立てよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに、話し合いの役割や時間配分等を決める。 ○「広げる話し合い」と「まとめる話し合い」があることを確認する場を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 本時の学習課題：主張・理由・根拠を明確にして自分の考えをまとめよう。 </div> <p style="text-align: center;">手立て2「支えとなる言葉と考えをつなげるように促す」</p> <p>○支えとなる言葉を確認しながら構成を考えるように促す。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>支えとなる言葉を確認しながら、構成を考えてみましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> 1年生もルールを知っているから、ドッジボールが面白いと思います。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: small;"> 鬼ごっこが面白いと思うけれど、どう言えばいいのかな。 </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「～ということがあった」という言葉を使って根拠を伝えましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; font-size: x-small;"> 「1年生が楽しそうに遊んでいたことがあった」と言えばいいんだね。 </div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">POINT</p> <p>支えとなる言葉と考えの構築をつなげるように促しましょう。</p> </div>

本時の学習課題：目的や条件に応じて、進行計画に沿って話し合おう。

・進行計画に沿ってグループで話し合う。

・話し合いをしていない班は、計画的に話し合っているかを聞く。



※少人数での話し合いの場の設定の例。
中央が話し合いの班、周りが話し合いを聞いている班。

○話し合いの仕方や流れ、ポイントなどを確認させてから、班ごとに話し合う場を設ける。

手立て2 「支えとなる言葉を基に考えを交流させる」

○様々な考えを知り、考えの広がりや促すために、発言の機会が増える少人数での話し合い活動の場を設定する。

○支えとなる言葉を基に相手の意見を聞いて、自分の考えと比較することを話し合いの前に提示する。

聞いている私たちは、支えとなる言葉をチェックすれば、計画的な話し合いができていくかな。



支えとなる言葉を基にすると、友達の考えの共通点や相違点がはっきりして、お互いの考えがよく分かるね。

POINT



支えとなる言葉を基に考えを交流させましょう。

手立て1 「言葉を使う」

○児童の伝えたいことに合わせて、支えとなる言葉を選んで使うように促す。



(話し合いの中で) たくさん遊びが学べたけれど、どうやって遊びを決めていけばいいのかな。



どう意見をまとめていきたいのですか。(支えとなる言葉の「まとめる」から選んでみましょう)



(そうか、「まとめる」ことを表す言葉から選べばいいんだ)
目的や条件に合っている遊びを検討しよう。

POINT



児童が伝えたいことに合わせて、言葉を選んで使えるように
促しましょう。

追究する

本時の学習課題：話し合った結果を共有しよう。

・話し合った結果や感想を共有する。

- 計画的な話し合いのために、どのようなことに気を付けたか。
- 話し合いを通じた自分の考えの変化(しなかったこと)とその理由。
- 交流会の遊びと1年生の様子。

※交流の視点の例

手立て1 「言葉のよさを実感する」

○友達が使った他の支えとなる言葉と比較させることで、言葉のよさを実感できるように促す。

※他の言葉に目を向けさせたいとき



ボールに人が集まるから反対です、と言ったよ。



問題点を言うときに、友達はどの言葉を使っていましたか。



友達は、「可能性がある」と言っていたから、遊ぶときのことを考えて問題点を言っていたのがよく分かったよ。今度使ってみよう。

POINT



自分が使った言葉と別の言葉と比較するように促しましょう。

手立て2 「支えとなる言葉を基に再考を促す」

○児童の考えが深められるようにするために、どの「支えとなる言葉」から考えが変わったかを想起させる。

※交流を通じた自分の考えの変化を感じてはいるものの、「変わった」という感想のみにとどまっている児童に対して



ドッジボールが面白いと思ったけれど、氷鬼も面白いんじゃないかな。



その考えは、どの言葉から変わったのですか。



(そうか。話し合いの中で、道具を使う危険性が問題点として出たんだ)
道具を使う危険がない氷鬼が面白いと思います。

POINT



支えとなる言葉を基に、再考を促しましょう。

〈児童の振り返りの例〉

- 実際に1年生と遊んだときに困らないように、遊んでいるところを想像して、問題点を言うことができた。
- 1年生のことを考えながら話し合った。交流会では、1年生が楽しく安全に遊べたから、目的や条件に合った話し合いができたと思う。
- 計画的に話し合うための言葉に気を付けたら、困らずに話し合いができた。
- これからも、「理由は～だから」などの言葉を使って、自分の考えを伝えられるようにしたい。

まとめる

本時の学習課題：計画的に話し合う方法をまとめよう。

- ・班で計画的に話し合う中で、どのような力が身に付いたのかを振り返る。
- ・ボールの使い方に関する場面を例に、よりよい伝え方について考える。

○自分の考えや事情の伝え方に必要な言葉について考え、二人一組で対話をさせる。新たな言葉に気付いたら共通理解をさせる。